

## おおたか写真館

### クリスマス会 2024

体育館

ハンドベルの音色と優雅なダンスが冬の訪れを知らせます。

ホール・会議室

ジャグリングの大技に思わず拍手が湧きます♪ 華やかな衣装と息の合ったダンスで皆の心もウキウキ！

ロビー・車寄せ

キッチンカーのクリスマスメニューにわくわく！

4種のワークショップ、クイズ、フォトコーナー  
おはなし会・イトインコーナー也大盛況！

また来年！

今年も「おおたかキッズ Happy Christmas 2024」を開催しました。今年11月に開催し、早めのクリスマスとなりました。予報では気温がかなり下がるとのことでスタッフは心配していましたが、当日は晴天で日差しは暖かく、延べ1000人の方が来場されました。この日の発表に向けて練習してきた子どもたちも最大限のパフォーマンスを発揮し、暖かい拍手をもらうことができました。クリスマスワークショップ・おはなし会では素敵な作品とたくさん笑顔が見られました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。(齊藤)



# Oh! taka Journal

流山市おおたかの森センターと 2024年 冬号

地域をつなぎ

寄り添うジャーナル誌。

## Vol.7

[編集・発行] 流山市おおたかの森センター 〒270-0128 千葉県流山市おおたかの森西2-13-1 TEL.04-7159-7031 FAX.04-7159-7062 Nagareyama City Otakanomori Center 2-13-1 Otakanomori Nishi, Nagareyama City, Chiba 270-0128, Japan

[発行日] 2024年12月10日

[印刷] 流山市おおたかの森センター [責任者] 野口恵一

Instagram @otakanomori\_center X @OtakanomoriCity



## おおたかの森センターからのお知らせ



今年も残り僅かとなりました。皆さまにとって今年はどうな年でしたか？冬が深まる季節に心身ともに温まる、センターのイベントに参加してみたいか？親子で一緒に学び・楽しめる企画として、5歳以上のお子様と親子向けの「親子星空探検隊」。冬休みの宿題に、小学3年生対象の「書き初め練習」、壊れてしまった大切なおもちゃを治してくれる「おもちゃ病院」。子育て中のママや体を動かしてリフレッシュしたい大人の方向への「リフレッシュサロン」。未就学児のお子様と保護者向けの「わくわく親子体操」。初心者も楽しくダンスできる！小学生以上対象の「レッツ★ダンシング」。あたたかく、ゆったりとした雰囲気の中で生の音を楽しむ「森の音楽会」など様々なイベントが開催されます。ご予約は流山市おおたかの森センター(☎04-7159-7031)にお電話または窓口まで。(谷澤)



昨年の森の音楽会のようす

### 今月の選書

by こども図書館

### おもわず おもわず



おもわず おもわず

「おもわず おもわず」あかね書房 / 作: えがしらみちこ

みなさんは「おもわずやってしまうこと」ってないですか？この絵本では男の子が家族と楽しくお出かけをしているときに、「おもわずやってしまうこと」がいっぱい出てきます。高いところに上ったり、バスの降車ボタンが押したかったり、広い場所では走りたくなったり…。だって、自分で色々やってみたくて、試してみたくて、おもわず体が動いてしまうんです。こどもに限らず大人の方でも「おもわずやってしまうこと」ってありますよね。読み終わったら家族や友達と一緒に自分が「おもわずやってしまうこと」のお話をするのも楽しいかもしれませんね。(こども図書館・高藤)

### 編集後記

お正月の定番料理と言えば「お雑煮」。私は関西出身ですが、すまし汁に野菜や穴子の白焼きを入れるのが我が家の定番です。お雑煮に穴子は珍しいと言われ調べてみたところ、『魚介類が豊富な瀬戸内海沿岸において、姫路では良質な穴子が水揚げされることで知られ、雑煮にも使われる』ということでした。お雑煮は関東関西のざっくりした違いだけではなく、地域の魅力が光る「THE故郷の味」のようです。千葉県の珍しいお雑煮といえば「はば雑煮」。房総半島南部の鴨川市や南房総市でとれる「はば海苔」というへら状の海藻や鰹節等を入れた上総地域のお雑煮で、お正月に食べると「1年中幅を利かすことができる」縁起ものだそうです。お雑煮パワーで皆さまが来年も元気で過ごせますように！(編集・齊藤)

季節色々

いちのや もりひがし きんりん こうえん  
市野谷の森東近隣公園

当センターの近隣には自然豊かな市野谷の森があります。この森は、オオタカを頂点とする多様な動植物が生息・生育する地域固有の田園的自然の保全を目的に「いきものたちと時間（とき）をすごすまちの森」がテーマになっています。総面積は24.1ha（ヘクタール）におよび千葉県と流山市が令和12年度完成予定で整備をすすめています。今年3月に流山市が管轄する森の東側3.0haが公園として整備され「市野谷の森東近隣公園」として開園したので実際に歩いてみました！（島中）



身近な自然とふれあい、自然を学び、安らぎを得る場として、多くのひとが親しめる都市公園として整備されました。



森といきものを守るために遊歩道の両側にロープがはられています。遊歩道外に立ち入らないように注意しましょう。



市野谷の森を中心に自然環境保全や環境教育活動を行い、流山市から森の維持管理を委託されているNPOさとやまによる観察会が開催されています。ご興味のある方は詳細をご確認の上、是非参加してみてくださいね！



Oh!散歩 なかれやま 第6回

ながれやま しじょうげ すいどうきょく  
流山市上下水道局



市野谷の森の脇に、モダンで風格ある4階建ての建物がある。隣には巨大なタンク（配水池）。ここは流山市上下水道局。市内の家々に命をつなぐ飲料水を送る拠点である。最近、地震や豪雨災害で断水というニュースを頻繁に聞く。水は飲料以外にも洗濯、お風呂など生活になくてはならない貴重なものであるが、我を振り返っても水はいつでも手に入るものだと思い込んでしまっている節がある。今、タンクを増設している。メンテナンスのためにも2つのタンクが必須とのことだ。上下水道局は、ドラマのロケ地としての一面もある。ここ数年、工事の関係で撮影はされていないが、今までに有名な刑事ドラマや人気ドラマの撮影に使われた。ある時は警察署、ある時は会社の経理課に変身している。上下水道局は市民の喉を潤すだけでなくエンターテインメントの一翼を担い人々の心も潤している。何はともあれ改めて「水」に感謝しつつ、節水にも努力しようと感じた。



見マ来マ ちゃっ得！ おもちゃ病院

壊れたおもちゃ、診察します。当センターでは毎月1回、流山おもちゃ病院を開院し大切なおもちゃの診察と治療を行っています。診察代は子供の笑顔で、原則無料(部品代がかかる場合は事前にご相談の上、実費を負担)。大切にしていたおもちゃが壊れてしまったら、是非お越し下さい。だれでも自由に遊べる「おもちゃの広場」も設けてあります。流山おもちゃ病院は「子どもたちの、ものを大切にする心を育てる」を合言葉に2006年11月から活動を開始。現在約30名が在籍し、流山市を中心に、大切なおもちゃの診察と治療を行っているボランティアグループです。流山市内の公民館など各所でおもちゃ病院を開院する以外にも色々なイベントも開催しています。現在おもちゃドクター・ナースを募集中。具体的な開院日時や活動内容は【おもちゃ病院ホームページ】<https://nagareyamaomocha2.blogspot.com/> をご覧ください。



次回開催日などのイベント詳細はセンターHP・広報ながれやまをご覧ください。(島中)

館長一筆箋

当館のプランターの花をピオラに植え替えた。同じ花でも色によって花言葉が違うことを最近知った。お恥ずかしい限りである。以前テレビ番組で、約6億年前にイラク北部の洞窟でネアンデルタール人が死者に花を手向け吊ったと見られる痕跡が発見されたという映像を見たことがある。花には人の心の傷を癒したり和ませたりする不思議な力を持つ。ピオラの花言葉に悪い意味は無いそうだ。プレゼントにも適している。ちなみに私は黄色のピオラが好きである。花言葉は「小さな幸せ」。(野口)

今月の書

